

第五講 エーリス戦争の背景 —スパルタ帝国主義—

エーリス戦争が注目されるのは「スパルタの帝国主義的膨張主義の頂点」で行われたことにある (Cartledge(1987), 249)。

パウサニアス王による帝国体制の変更 (デカルキアの廃止、民主派との和解、海上勢力の維持) : 海上支配を放棄したわけではない (誤解があるといけない)。パウサニアスを保守派で反帝国主義派と単純に分類することは出来ない。

そのような修正された帝国体制の中で起きた事件だけに新方針の性格を調べる試金石となる。

時期 : デルキュリダスがアジアで活躍していた時期。

Xen. *Hell.* 3. 2. 21: 「以上のことがアジアでデルキュリダスによって行われているころ」

スパルタ単極体制からスパルタ・アテナイ・テーバイ三極体制へ
ペルシアの外交的影響力の拡大

前 404 年 ペロポネソス戦争終戦

＝スパルタ単極体制の完成

前 403 年 アテナイにおける内戦の終焉

＝帝国政策の修正

前 401 年 小キュロスの遠征とクナクサの戦い

＝ペルシアとの協調体制の崩壊

前 400 年 ギリシア人傭兵部隊のヨーロッパ帰還

＝スパルタの東方政策の動揺

ティブロンのアシア遠征 (～前 399 年)

＝ペルシアとの対立

前 399 年 デルキュリダスのアシア遠征 (～前 396 年)

エーリス戦争 (～前 398 年) ? (Cartledge (1987): 249 :

前 402～400 年 ; Hamilton (1991): 89: 前 400 年)

前 398 年 アーギス王の死とアゲシラオス王の即位

前 396 年 アゲシラオスのアシア遠征 (～前 395 年)

キナドンの陰謀事件

＝スパルタの構造的問題の表面化

前 395 年 コリントス戦争 (～前 387 年)

＝スパルタ単極体制の終焉

エーリスとスパルタ

- 紛争の発生：前 421 年 トリピュリアのレプレオン問題←ピサティ
ス・トリピュリアへのエーリスの拡大
貢税負担のペリオイコイ都市 (Str. 8. 30)
エーリスの集住 (前 471 年 : Diod. 11. 54. 1;
Str. 8. 3. 2. Cf. Paus. 5. 4. 3)
レプレオンはスパルタの同盟国・領土保全の
義務
スパルタの守備隊設置 (Thuc. 5. 31; 34 : ヘ
イロタイを入植)
アテナイとの講和条約参加拒否 (Thuc. 5.
17)
ペロポネソス同盟脱退とアルゴスとの同盟
(Thuc. 5. 31)
- 緊張の拡大：前 420 年 アテナイ、アルゴス、マンティネイアと同盟
(Thuc. 5. 43-48)
スパルタのオリュンピア祭典への参加禁止
(Thuc. 5. 50)
リカース事件の発生 (Thuc. 5. 50)
- 前 418 年 3 千名の重装歩兵をアルゴスに出動
(Thuc. 5. 58)
マンティネイアの戦いには不参加
- 緊張の継続：前 415 年 アテナイの第一次シケリア遠征軍、キュレー
ネー寄港 (Thuc. 6. 88)
- 前 413 年 アテナイの第二次シケリア遠征軍、ペア寄港
(Thuc. 7. 31)
スパルタ王アーギスによる神託禁止
(Xen. *Hell.* 3. 2. 23)
- 前 404 年 ペロポネソス戦争分担金の支払い拒否
(Diod. 14. 17. 5)
アテナイ人民主亡命派への援助 (2 タラント
ン) (Plut. *Mor.* 835F)

【史料】

Xen. *Hell.* 3. 2. 21-23:

「[21] 以上のことがアジアでデルキュリダスによって行われているころ、ラケダイモン人

はかねてよりエーリス人に対して怒りを募らせていた、というのはアテナイ人やアルゴス人、マンティネイア人と同盟を結んだこと、判決を下して彼らが馬術と体育の競技に参加するのを妨害したこと、そしてそのことに満足することなく、リカースがテーバイ人に戦車を提供し、彼らが優勝したと布告されたときに、御者に冠を授与しようとして入り込んだ時に、老人のその人を鞭で打って追い出してしまったからである。[22] これらの後、アーギスが或神託に従ってゼウスに犠牲を捧げるべく派遣されたときに、エーリス人はギリシア人がギリシア人に対する戦争について神託を伺ってはならないのが古来の慣習であると言いついて、戦争の勝利を祈願してはならないと妨害したのであった。

【参考文献】

- P. Cartledge (1987): *Agesilaos and the Crisis of Sparta*, Baltimore.
- E. David (1986): *Sparta between Empire and Revolution (404-243 B.C.): Internal Problems and their Impact on contemporary Greek Consciousness*, Salem.
- C. Falkner (1996): "Sparta and the Elean War, ca 401/400 B. C.: Revenge or Imperialism?", *Phoenix* 50, pp.17-25.
- C. D. Hamilton (1991): *Agesilaus and the Failure of Spartan Hegemony*, Ithaca and London.
- Roy, J. (1997): "The Perioikoi of Elis", in *The Polis as an Urban Centre and as a Political Community*, ed. M. H. Hansen, Acts of the Copenhagen Polis Centre 4, Copenhagen, 1997. pp.282-320.
- Do (1998): "Thucydides 5. 49. 1- 50. 4: The Quarrel between Elis and Sparta in 420 B. C., and Elis' Exploitation Olympia", *Klio* 80, pp.360-68.
- Do (2002): "The Synoikism of Elis", in Nielsen, T. H.. *Even More Studies in the Ancient Greek Polis*. Stuttgart, pp. 249-264.
- Do (2004): "Elis", in *An Inventory of archaic and classical Poleis*, eds. M. H. Hansen and Th. H. Nielsen, Oxford, pp.489-504.
- 中井義明 (1978) : 「エーリス戦争とスパルタ」『文化史学』34、pp.23-34.